

2009年秋(9月～11月)の東北地方の天候

- ・ 9月の記録的な少雨
- ・ 10月・11月の東北太平洋側を中心とした多雨
- ・ 10月の台風上陸・接近による大雨
- ・ 気温の変動が大きい

(1) 2009年秋(9月～11月)の天候

秋を通じて天気は数日の周期で変化することが多かった。9月は発達した低気圧の影響を受けることは少なく、秋雨前線の活動も弱かったため、降水量がかなり少なく、記録的な少雨となった。一方、10月は上旬に台風第18号、下旬に台風第20号の影響による大雨で東北太平洋側を中心に降水量が多くなり、11月は低気圧や前線の影響を受けやすかったため、東北太平洋側を中心に降水量が多くなった。なお、秋の台風の発生は11個(平年11.5個)、日本に上陸した台風は1個(平年1.1個)、本土への接近は3個(平年2.1個)と平年程度で(速報値)、日本への台風の上陸は2007年9月以来2年ぶりとなった。

気温は、9月上旬から中旬、10月上旬後半から中旬前半、11月上旬前半、11月中旬後半から下旬はじめに寒気が流れ込み平年を下回ったが、そのほかの時期は平年を上回るなど、気温の変動が大きかった。

3か月平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。3か月間降水量は東北地方で少ない。3か月間日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。

9月：天気は数日の周期で変化したが、上旬と中旬は高気圧におおわれ晴れの日が多かった。期間を通して、発達した低気圧の影響を受けることはなく、秋雨前線の活動も弱かったため、降水量はかなり少なくなり、大船渡、仙台、石巻、福島、若松、白河、小名浜では、9月として月降水量の少ない方からの極値を更新した。また、上旬と中旬は寒気の影響により気温の低い日が多かったが、下旬は南から暖かい空気が流入して、気温の高い日が多かった。

月平均気温は東北地方で低い。月降水量は東北地方でかなり少ない。月間日照時間は東北地方で多い。

10月：天気はおおむね数日の周期で変化したが、上旬と下旬に台風の影響を受けた。8日には、台風第18号が東日本や東北南部を通過した影響で大荒れの天気となり、東北太平洋側を中心に大雨となった。26日から27日にかけては、台風第20号が関東の南東海上から三陸沖を北上した影響で荒れた天気となり、東北太平洋側の南部を中心に大雨となった。また、上旬前半や、中旬後半から下旬にかけては気温が平年を上回る一方、上旬後半から中旬前半にかけては寒気が流れ込んだ影響で平年を下回るなど、気温の変動が大きかった。なお、30日は寒冷前線の通過に伴い大気の状態が不安定となり、青森県、秋田県で竜巻による被害が発生した。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北地方で多い。月間日照時間は東北地方で多い。

11月：天気はおおむね数日の周期で変化した。上旬と下旬は高気圧におおわれ晴れの日が多かったが、中旬は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。特に11日は東北南部を中心に大雨となり、14日は東北太平洋側を中心に大雨となった。また、暖かい空気におおわれ気温の高い日が多かったが、上旬前半と中旬後半から下旬はじめにかけては寒気が流れ込んだ影響で低温となるなど、気温の変動が大きかった。

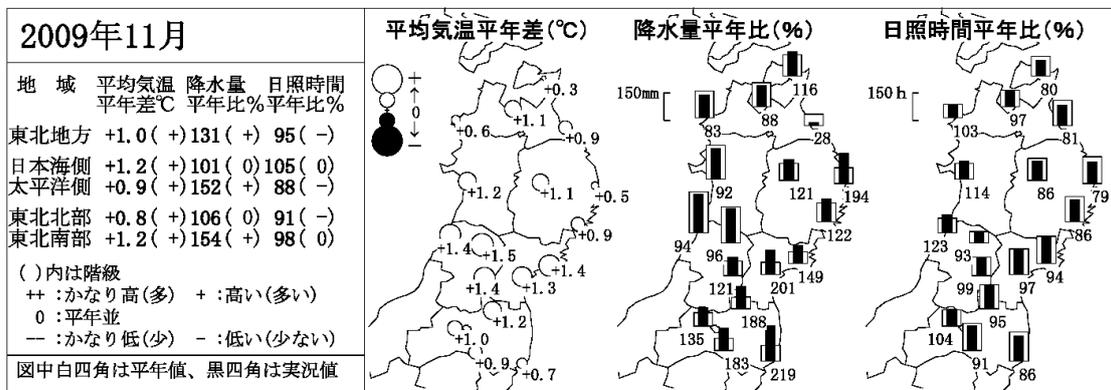
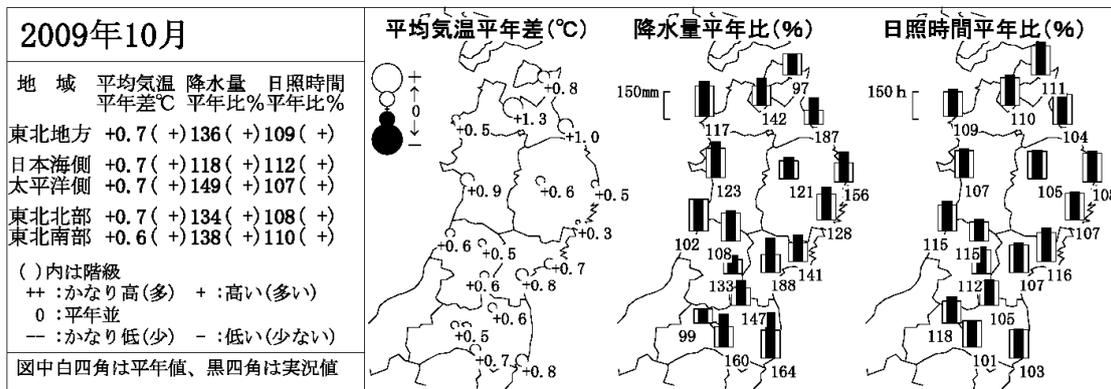
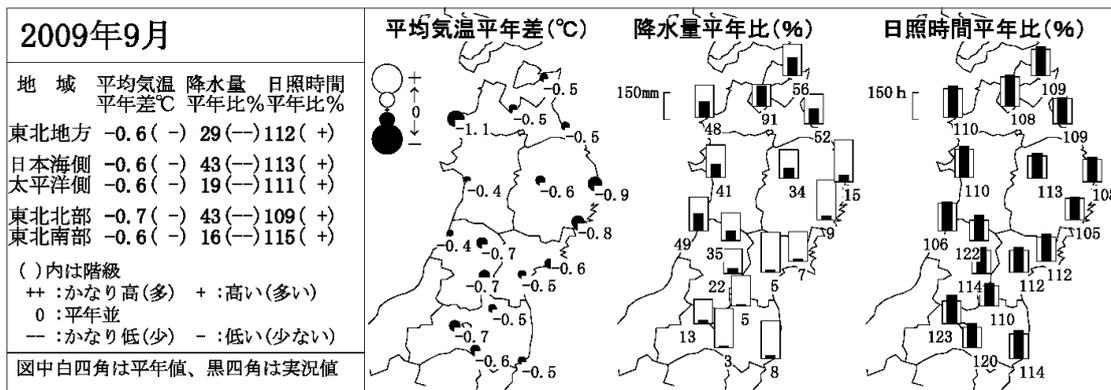
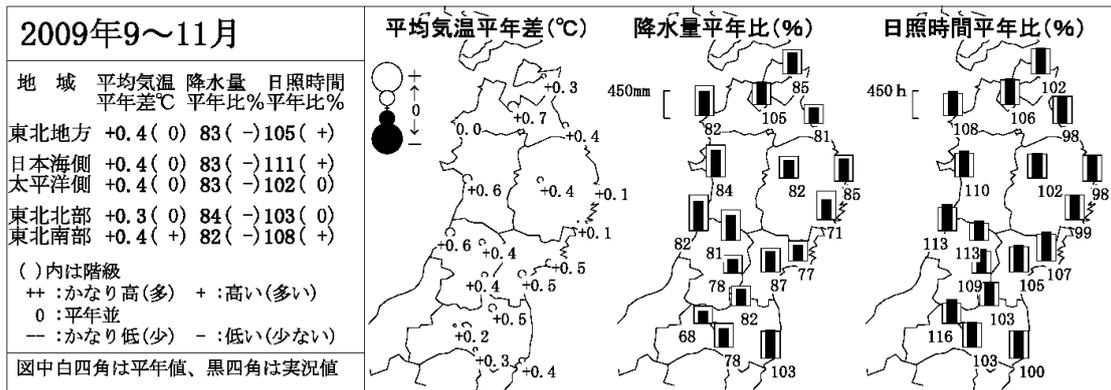
月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。月間日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係(電話：022-297-8110)

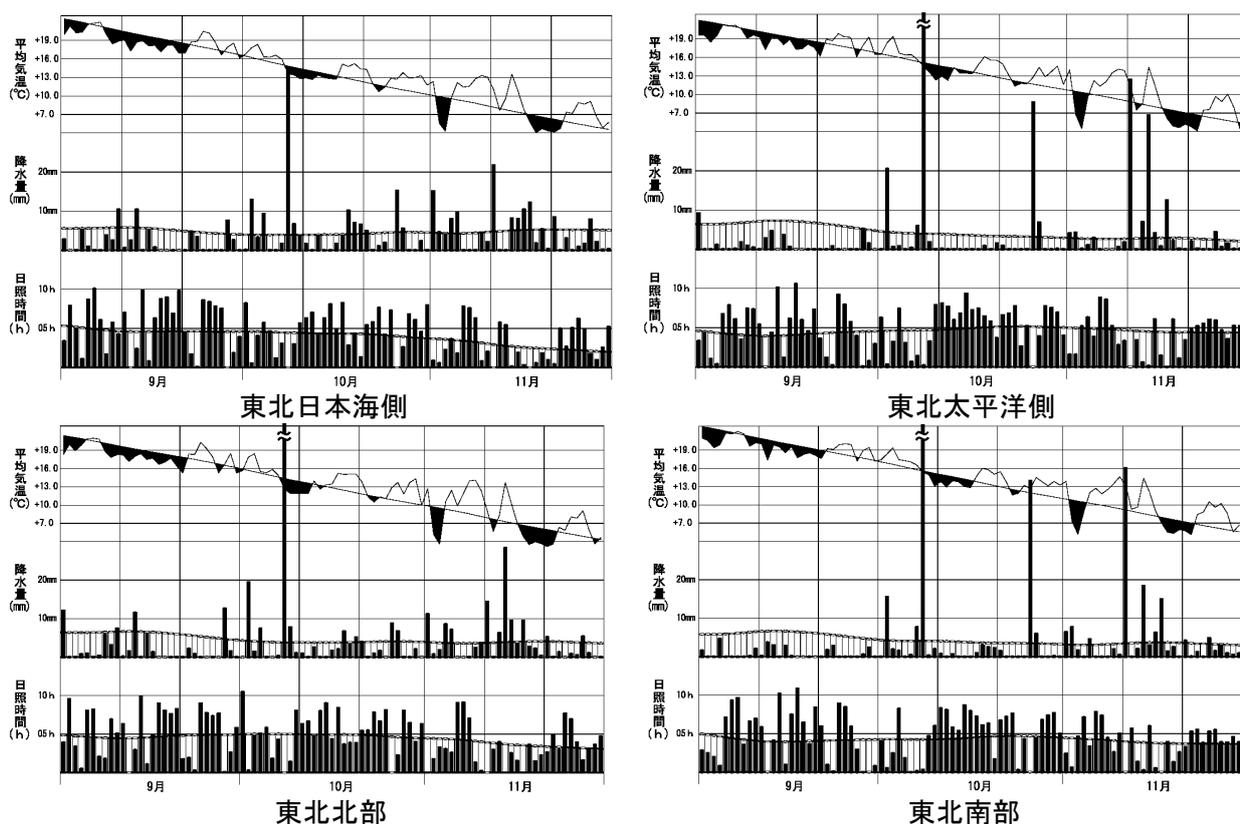
(2) 2009年秋(9月~11月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971~2000年。

注) 東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方
 東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方
 東北北部：青森県、秋田県、岩手県
 東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2009 年秋 (9 月～11 月) の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均 (気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱)

(5) 2009 年秋 (9 月～11 月) の極値・順位更新

(3 か月平均気温、3 か月間降水量、3 か月間日照時間の 3 位以内のみ)

なし

(6) 月統計値の極値更新

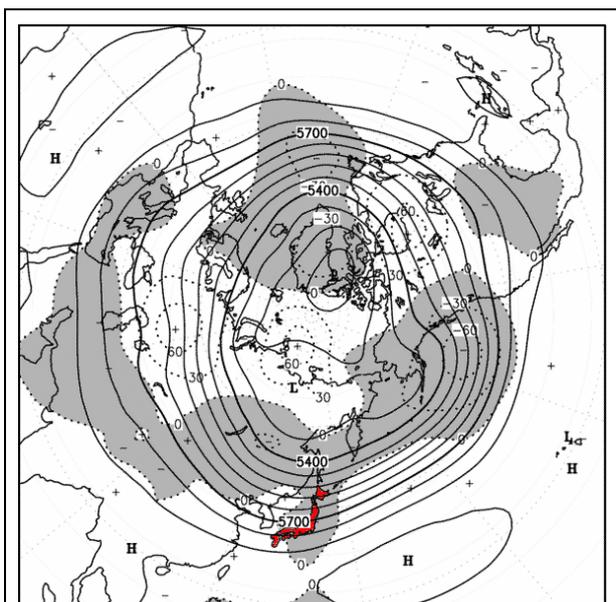
(月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計値多い方、月最深積雪大きい方の 1 位のみ。)

月降水量少ない方からの極値更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
9 月	大船渡	20.5	9	46.0 (2003)	1963	218.7
	若松	17.0	13	17.5 (1968)	1953	134.0
	仙台	12.0	5	36.5 (1969)	1927	218.4
	石巻	12.0	7	33.0 (1969)	1887	163.1
	福島	9.0	5	10.5 (1992)	1889	169.2
	白河	7.5	3	32.5 (1992)	1940	215.9
	小名浜	15.5	8	56.3 (1963)	1910	205.8

(注) 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

(7) 北半球の大気の流れ (9月~11月)



9月~11月の平均500hPa高度・平年偏差図
 実線は高度(m)、間隔60m。破線は偏差(m)、間隔30m。陰影部は負偏差域。

日本付近は偏西風の蛇行は小さく、天気が周期的に変化したことに対応している。また、日本付近は負偏差となっているが、偏差は小さく、日本の東海上や南海上では正偏差であったことから、寒気は入ったものの長くは続かなかったことに対応している。

(8) 2009/2010年寒候期 季節現象

2009/2010年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初霜			初氷			初雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	10.25	10.23	11.11	11.3	10.29	11.11	11.2	11.7	11.4
秋田	×	11.6	11.11	11.3	11.13	11.20	11.2	11.12	11.19
盛岡	10.23	10.18	11.2	11.3	10.24	11.10	11.3	11.8	11.8
仙台	11.22	11.6	11.27	11.22	11.16	11.27		11.22	11.20
山形	11.18	10.24	11.2	11.18	10.29	11.2	11.3	11.16	11.19
福島	11.4	11.6	11.21	11.4	11.11	11.21		11.24	11.20
若松	11.4	10.28	10.30	11.4	11.6	11.5	11.2	11.17	11.19

※秋田の初霜は、積雪によって霜が観測できなかった期間があり、欠測(×)となりました。

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハコウダサン 八甲田山	1584	11.2	10.16	10.12	リュウザン 瀧山	1362	11.2	10.30	10.30
イワキサン 岩木山	1625	11.4	10.15	10.29	イズミガダケ 泉ヶ岳	1175	11.3	11.6	11.19
タイハイサン 太平山	1170	11.2	10.31	11.9	ザオウサン 蔵王山	1841	11.3	10.23	10.30
イワテサン 岩手山	2038	10.10	10.13	9.27	アヅマヤマ 吾妻山	1949	11.3	10.21	10.27
カッサン 月山	1984	11.4	10.15	9.27	イイデサン 飯豊山	2105	11.4	10.17	9.28
アサヒダケ 朝日岳	1870	11.4	10.19	10.30	パンダイサン 磐梯山	1819	11.3	10.24	10.30
ガンドサン 雁戸山	1485	11.2	10.28	10.30					

注: 蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。
 (12月1日12時00分現在の状況)